

# 大阪府工業指数2024年10月【速報】

## 毎月の生産・出荷・在庫の推移

### 1 概況

(1)生産指数…91.4 前月比2.2% 2か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、金属製品工業、化学工業など6業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、石油・石炭製品工業など8業種が低下した。

品目別にみると、橋りょう、ショベル系掘削機械等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲3.6%と3か月連続の低下となった。

(2)出荷指数…91.6 前月比▲2.4% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、電気・情報通信機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など9業種が低下し、金属製品工業、化学工業など5業種が上昇した。

品目別にみると、リチウムイオン蓄電池、精製・混合原料油等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲2.9%と3か月連続の低下となった。

(3)在庫指数…97.1 前月比3.9% 4か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、化学工業など10業種が上昇し、窯業・土石製品工業、プラスチック製品工業など3業種が低下した。

品目別にみると、装輪式トラクタ、軽油等が上昇した。

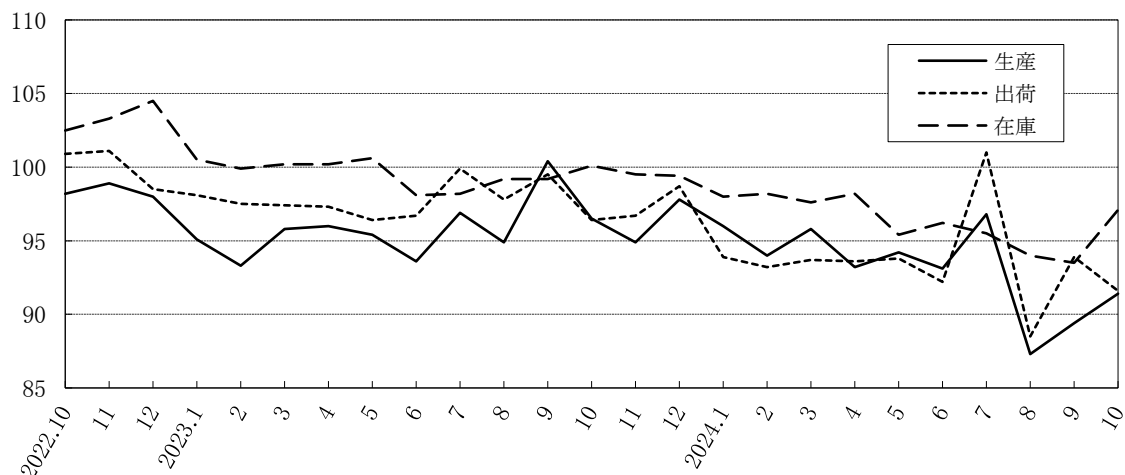
また、前年同月比(原指数)は、▲3.0%と17か月連続の低下となった。

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前 月 比 (%)		前年同月比(%)
生 産	2024年 9 月	89.4	2.4	89.3	▲12.0
	2024年 10 月	91.4	2.2	96.1	▲3.6
出 荷	2024年 9 月	93.9	6.1	93.4	▲7.0
	2024年 10 月	91.6	▲2.4	96.4	▲2.9
在 庫	2024年 9 月	93.5	▲0.5	94.5	▲5.8
	2024年 10 月	97.1	3.9	97.6	▲3.0

2020年=100

生産・出荷・在庫の推移

数値は季節調整済指数



## 2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 2.2% 上昇 6業種  
 低下 8業種  
 横ばい 0業種 計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	金属製品工業	2.889	30.3	橋りょう、飲料用アルミニウム缶
	化学工業	0.531	3.4	ポリプロピレン、分解ガソリン
	生産用機械工業	0.374	3.4	ショベル系掘削機械、産業用ロボット
	プラスチック製品工業	0.111	3.2	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム・シート
	輸送機械工業	0.076	2.1	鉄道車両、シャシー・車体部品
	食料品工業	0.030	0.3	新ジャンルビール、菓子パン
	その他の上昇した品目			
低下	電気・情報通信機械工業	▲ 0.664	▲ 7.7	リチウムイオン蓄電池、セパレート形エアコン(室外)
	石油・石炭製品工業	▲ 0.465	▲ 6.3	精製・混合原料油、重油
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.391	▲ 45.6	アクティブ型液晶パネル
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.240	▲ 2.1	鋼半製品、粗鋼
	その他工業	▲ 0.140	▲ 2.0	ステンレス製魔法瓶、不織布
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.028	▲ 0.3	ポンプ、環境計測機器
	窯業・土石製品工業	▲ 0.028	▲ 1.9	生コンクリート、耐火れんが
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.009	▲ 0.5	紙器用板紙
	その他の低下した品目			

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	橋りょう	金属製品工業
	2	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	3	鉄道車両	輸送機械工業
	4	ポリプロピレン	化学工業
	5	産業用ロボット	生産用機械工業
	6	分解ガソリン	化学工業
	7	プレス用金型	生産用機械工業
	8	一般用バルブ・コック	汎用・業務用機械工業
	9	新ジャンルビール	食料品工業
	10	エチレン	化学工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	精製・混合原料油	石油・石炭製品工業
	3	リチウムイオン蓄電池	電気・情報通信機械工業
	4	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	5	超硬工具	生産用機械工業
	6	ウイスキー	食料品工業
	7	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	8	ポンプ	汎用・業務用機械工業
	9	開閉制御装置	電気・情報通信機械工業
	10	化学機械	生産用機械工業

(2)出荷 前月比 ▲ 2.4% 上昇 5 業種  
 低下 9 業種  
 横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	金属製品工業	2.998	30.3	橋りょう、金属製管継手
	化学工業	0.659	5.7	フェノール、プロピレン
	食料品工業	0.207	2.1	新ジャンルビール、ハム・ソーセージ
	プラスチック製品工業	0.120	2.7	プラスチック製機械器具部品、 プラスチック製フィルム・シート
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.040	2.6	段ボール原紙
	その他の上昇した品目			鉄道車両【輸送機械工業】、 エチレン【化学工業】
低下	電気・情報通信機械工業	▲ 3.575	▲ 37.6	リチウムイオン蓄電池、プロジェクタ
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.758	▲ 5.7	伸銅製品、鋼半製品
	石油・石炭製品工業	▲ 0.712	▲ 7.4	精製・混合原料油、重油
	生産用機械工業	▲ 0.600	▲ 6.8	超硬工具、装輪式トラクタ
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.388	▲ 4.6	エアハンドリングユニット、汎用内燃機関
	輸送機械工業	▲ 0.272	▲ 5.2	自動車用機関部品(除. ガスケット)、 電動アシスト自転車
	窯業・土石製品工業	▲ 0.254	▲ 19.2	無アルカリガラス基板、生コンクリート
	その他工業	▲ 0.063	▲ 1.1	ステンレス製魔法瓶、 医療・衛生用ゴム製品
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.008	▲ 2.0	電子回路基板
	その他の低下した品目			医薬品【化学工業】、 ガソリン【石油・石炭製品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫 前月比 3.9% 上昇 10 業種  
 低下 3 業種  
 横ばい 0 業種 計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	0.748	10.6	装輪式トラクタ
	化学工業	0.663	5.0	ビスフェノールA、ポリプロピレン
	石油・石炭製品工業	0.629	19.5	軽油、重油
	電気・情報通信機械工業	0.528	4.1	セパレート形エアコン(室外)、乾電池
	輸送機械工業	0.366	52.4	電動アシスト自転車
	汎用・業務用機械工業	0.345	3.9	汎用内燃機関、エアハンドリングユニット
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.310	1.2	鋼半製品、伸銅製品
	金属製品工業	0.206	2.1	飲料用アルミニウム缶、 産業用アルミニウム製品
	その他工業	0.134	2.1	タフテッドカーペット、工業用ゴム製品
	食料品工業	0.015	0.3	チョコレート
その他の上昇した品目			ふっ素樹脂【化学工業】、 酢酸ビニルモノマー【化学工業】	
低下	窯業・土石製品工業	▲ 0.145	▲ 14.7	無アルカリガラス基板、研削砥石
	プラスチック製品工業	▲ 0.119	▲ 2.7	プラスチック製建材、プラスチック製パイプ
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.076	▲ 6.6	段ボール原紙
	その他の低下した品目			ショベル系掘削機械【生産用機械工業】、 フェノール【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

### 3 業種分類別の推移

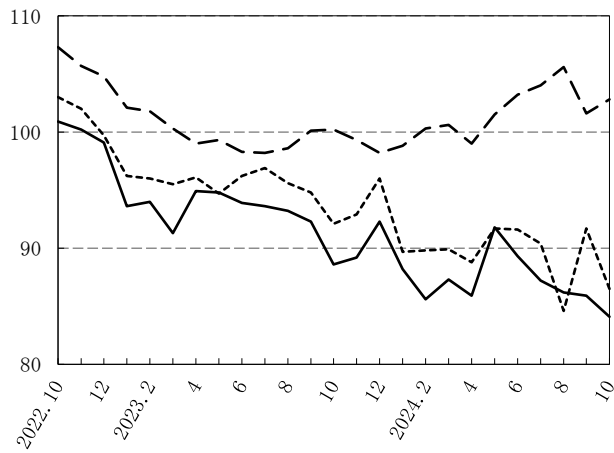
数値は季節調整済指数  
2020年=100

生産 ————  
出荷 .....  
在庫 - - - - -

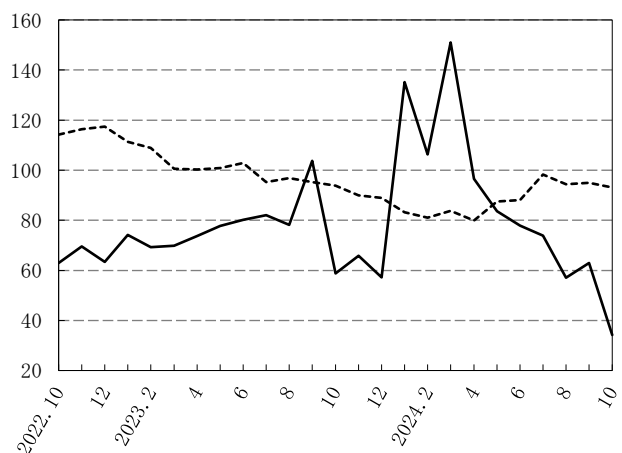
汎用・業務用機械工業



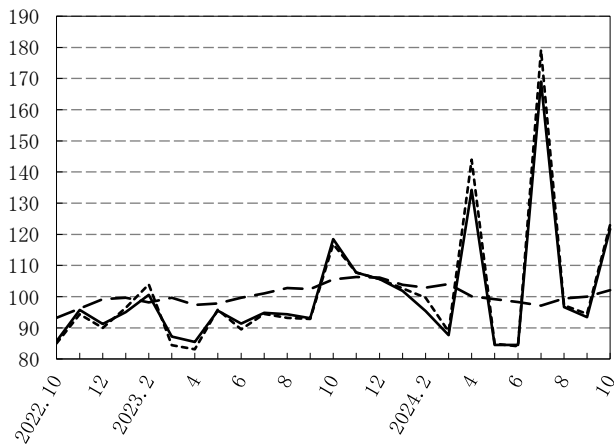
鉄鋼・非鉄金属工業



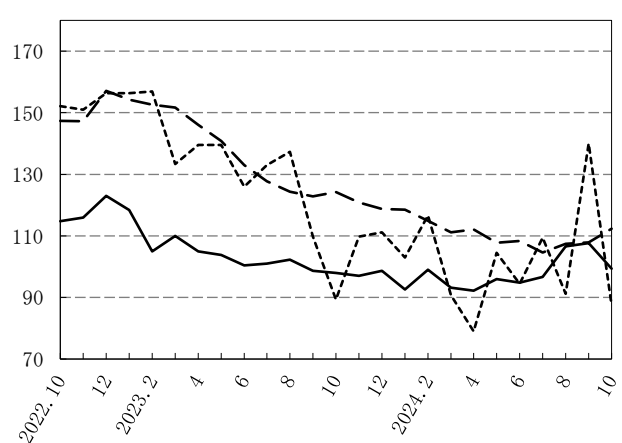
電子部品・デバイス工業



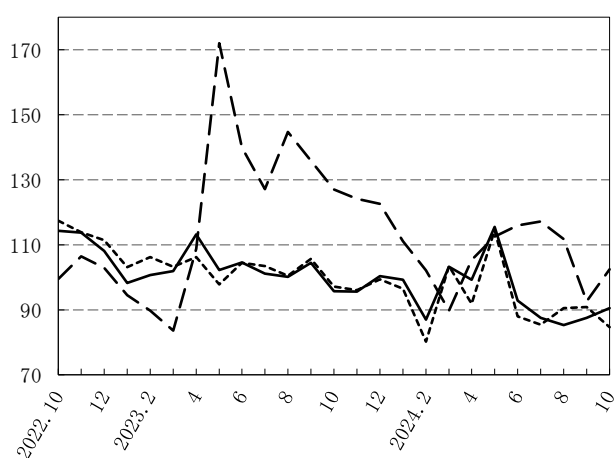
金属製品工業



電気・情報通信機械工業

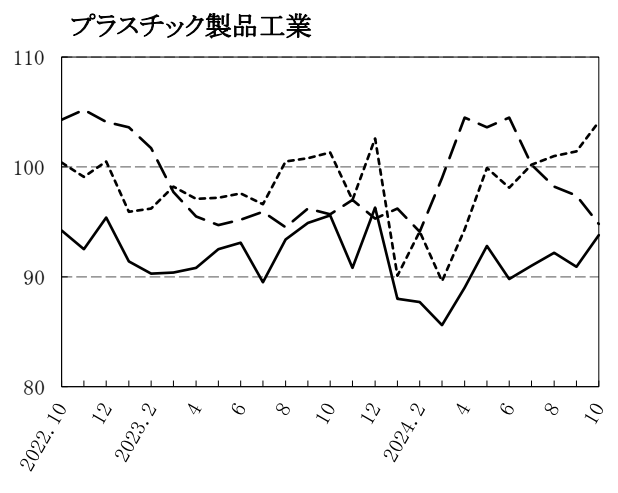
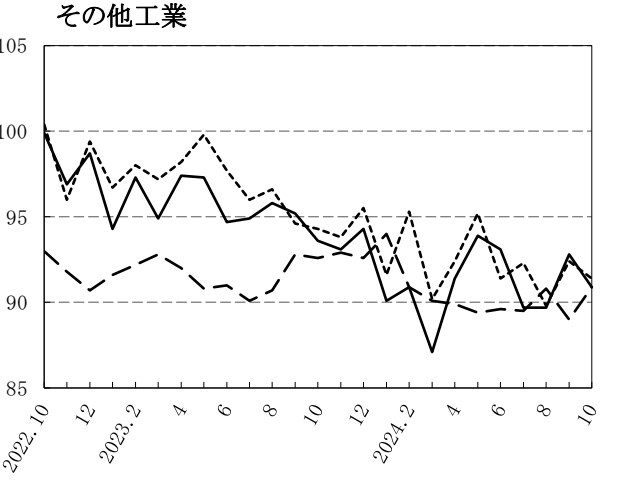
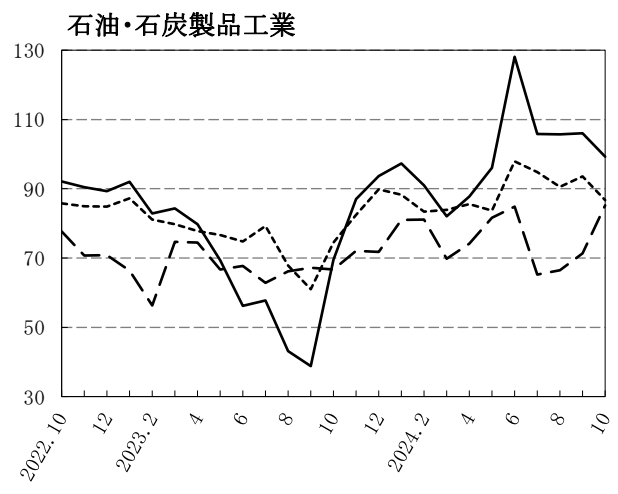
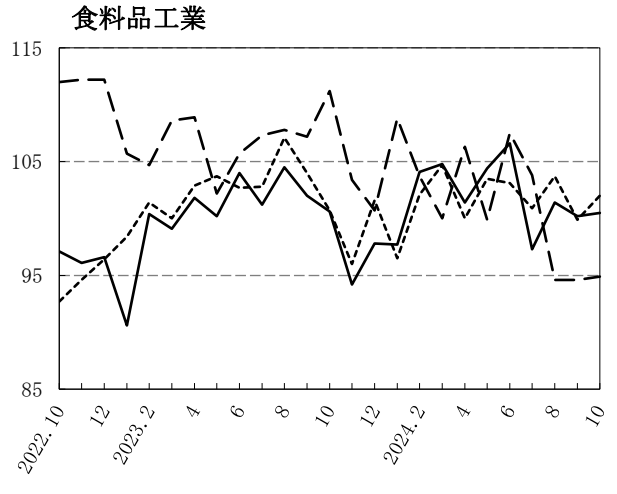
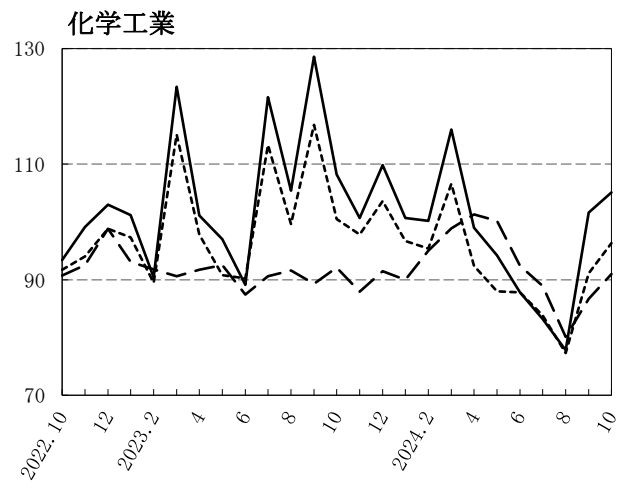
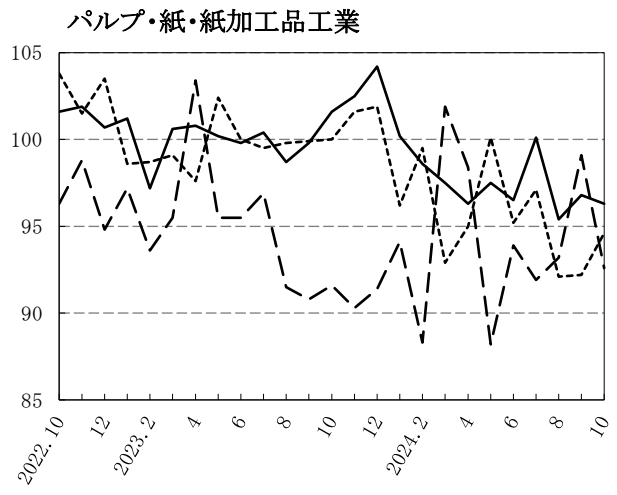
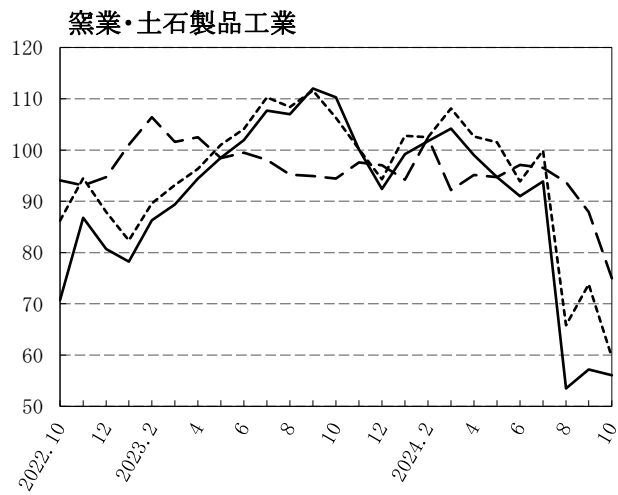


生産用機械工業



輸送機械工業





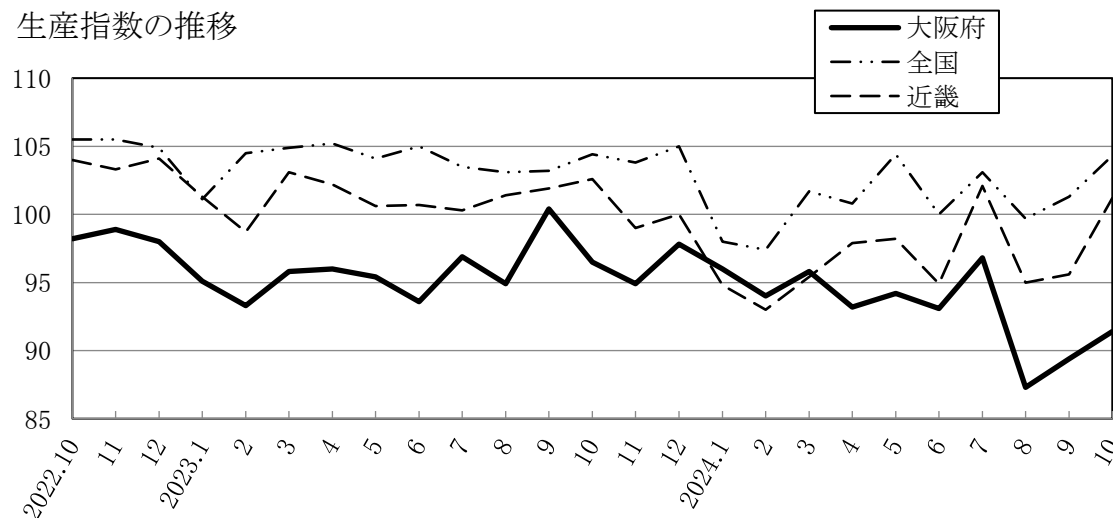
## 4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	91.4	2.2	104.3	3.0	101.2	5.9
出荷	91.6	▲2.4	102.6	2.8	97.6	3.1
在庫	97.1	3.9	102.2	▲0.1	109.0	0.7

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



### 1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

### 2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

### 3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

### 4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2023年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2024年8月速報(2024年10月31日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2024年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL: 06(6210)9195(直通)